



2019 June

No.562

地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

理念 140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

基本方針

患者中心医療

患者の人権と意思を尊重します

患者診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に
医療機能の充実を図ります

完結型医療

地域の医療機関との連携を行い
安心できる医療の展開を行います

社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療
ボランティアの活動を行います

医療人育成

医療に携わる喜びが持てる医療人の
育成を行います

心臓リハビリテーションウェブ 合同カンファレンス開催 for Skype



令和元年5月28日に当院と公立多良木病院、鹿児島県立北薩病院の3会場をインターネットテレビ電話（Skype）で繋ぎ、心臓リハビリテーション（心リハ）勉強会を開催しました。

当院は人吉・球磨地域のみだけではなく、伊佐地域やえびの地域など県外からも多くの患者さんをご紹介いただいております。PCI（冠動脈インターベンション）、EVT（末梢動脈治療）の治療実績は年々増加傾向にあります。昨年度のPCI症例数は499例、EVT症例数は99例でした。

しかし、PCI・EVTといった治療は、狭い箇所を拡げるだけの局所療法であり、患者さんの生命予後改善のためには、食事療法・運動療法・禁煙・至適薬物療法などが重要となります。その手段としての包括的心臓リハビリテーションが最重要と考えていますが、当院の医療圏は広く、患者さんの当院への外来通院が時に困難で、症例数も多いため当院のみでは対応に限界があります。

これまで、紹介状のやり取りだけで、顔を合わせて話をする機会もなく、“顔が見える連携”を行う方法を検討してきました。そこで今回、スポンサー企業のサポートを受け

て3病院会場をリアルタイムでSkypeを用いて繋ぎ、相方向性に会話をしながら行う心リハ勉強会を企画しました。

第1回目となる今回は、当院循環器内科 尾上喜郎医師より『心臓リハビリテーションの重要性について』、当院リハビリテーション部 那須理学療法士より『当院の心臓リハビリテーションについて』の2演題の発表がありました。心臓リハビリテーションの歴史や、期待できる効果、リハビリの方法などについてとても分かりやすく発表していただきました。

包括的心臓リハビリテーションの意義は、医師だけではなく、多職種・多面的介入を行い、みんなで1つの目標へ向かっていくことで、より高い効果を産み出すことと思っています。

同様に、この南九州中部の地域医療において、当院だけではなく、病病連携・病診連携、そして今回参加して頂いた他院のコメディカルスタッフの方々と連携を行い、シナジー効果が得られることを期待しています。

循環器内科 部長 中村 伸一

歯科口腔外科 医師紹介

鹿児島大学病院口腔外科より赴任致しました、中村康大と申します。私は鹿児島県伊佐市出身であり、小さい頃からよく人吉に遊びに来ておりました。馴染みあるこの人吉で働かせて頂けることを大変嬉しく思っております。大学では日々の臨床と、「血清マイクロRNAによる口腔癌の早期発見」をメインテーマとし研究にも励んでおりました。「歯・口腔は健康の源である」という考えの

もと、努力して参ります。少しでも地域医療に貢献出来るように、また一人でも多くの方に笑顔になって頂けるように頑張っていく所存です。ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



歯科口腔外科
中村 康大

人生会議ははじめませんか？-アドバンス・ケア・プランニング(ACP)-

もしもの時に備えて、受けたい医療やケアについて、あなたの希望や想いを、家族や大切な人、かかりつけ医をはじめとした医療者とともに話合っておくことです。最期の時まで、自分らしく穏やかに生きるために、もしもの時のことを考えてみませんか。

いつから始めるの？

1. 今から始めましょう！元気な方でも、いつ、もしもの時を迎えるかわかりません。そうなる前に、あなたの希望や想いを整理して、家族や大切な人と話し合えば、自分で意志を伝えたり判断することが難しくなった時、家族などが、あなたご自身の希望に配慮した対応をしやすい、代わりに判断する時の悩みや負担を軽くすることができます。

2. 今、医療や介護を受けている方は、あなたの想いや希望に沿った最適の選択ができるように、かかりつけ医をはじめとした医療者とともに相談しながら考えてみましょう。

わからないことがあれば、ケアマネジャーや地域包括支援センターにも相談することができます。

ACPについてもっと知りたい！

人吉医療センターでは、ACPチームを立ち上げ、皆さんが、自分らしい人生をおくるためのお手伝いをしています。皆さんの職場や地域に出向いての研修会も開催いたします。また、院内・院外で活用して頂けるよう ACP シートを作成しました。話を聞きたい、シートを活用したい etc...お気軽にご相談ください。



アドバンス・ケア・プランニング(ACP)には、法的な意味合いや拘束力はありません。健康状態や生活環境の変化等によって、いつでも何度でも書き直すことができます。

生活環境が変わった時や、人生の節目など(イベント、誕生日、結婚記念日)に話し合いをして見直しをしましょう。

お問い合わせ先

JHCO 人吉医療センター医療福祉連携室

TEL : 0966-22-2191 FAX : 0966-22-7879

みんなで守ろう標準予防策 ～特に手洗いについて～ (院内感染対策研修会)

当院では年に2回、院内感染対策研修会が開催されます。今回は、山中喜代治先生(株)エスアールエル学術顧問による「みんなで守ろう標準予防策～特に手洗いについて～」でした。

標準予防策とは、すべての患者・家族、医療従事者に対して、標準的に用いる基本的な感染対策であり、感染やその疑いの有無にかかわらず、すべての患者の血液・体液・排泄物は、感染性として取り扱うとされています。標準予防策の基本は手洗いであり、WHO(世界保健機関)は、医療関連感染の予防にアルコールによる手指衛生を強く推進しています。この活動の趣旨は、医療従事者が適切なタイミングで正しい手指衛生を行うこと、手指衛生の遵守率を改善させることで医療関連感染を防ぎ、患者安全を最優先させることにあります。

今回の研修では、職員全員が参加できるように2日間計6回開催され6回とも内容を変えてあり、私はそのうち3回に楽しく参加させていただきました。研修では、微生物はいつでも近くに潜んでいて、感染の機会を伺っていること。医師や看護師ばかりでなく、病院で働くすべての医療従事者は、自分も感染し、人にも感染させることを理解する必要があること。病院職員全員が毎日、知識を意識して対応することの大切さを楽しく学ぶことができました。

今回の研修で学んだことを継続し、安全な医療の提供を維持できるよう職員全員で感染対策に努めていきます。

5階看護師 眞田 由紀

あなたは本当に好きでタバコを吸いますか？

●タバコを吸うのはストレス解消、癖だからと思いがちですが、ニコチン依存症という病気です。



●タバコのデメリットとして、非喫煙者(1.0)と比較した喫煙者の死亡率(男)は以下のようになっています。



禁煙サポートします！(断煙外来)

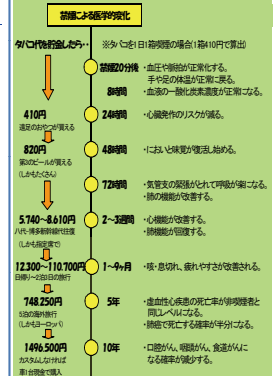
火曜日 午前10時～(要電話予約)
費用 (保険診療 3割負担の場合)

禁煙プログラム
内服: 3ヶ月間(5回) 約20,000円
パッチ: 3ヶ月間(5回) 約15,000円

予約・問合せ先:
JCHO人吉医療センター 断煙外来
TEL (0966) 22-1900

注意事項

保険診療での断煙治療を中断された場合、初診日から1年間は断煙治療について保険診療を行うことができません。
1年以内に再度断煙治療を希望される場合は、自費診療となります。(約3～6万円)



●タバコを止めて、お金を有効利用しませんか？当院では断煙外来を行っております。断煙プログラムは**3ヶ月間、総額20,000円くらい**かかります。高いようですが、あなたの**2ヶ月分のタバコ代**と変わりません。

現在、IQOSなどの加熱式タバコを使用されている方が増えていますが、それらにも発がん性が疑われる有害物質が

含まれている事が分かってきています。

「タバコを辞めたいけどなかなか辞められない。」「自分での禁煙に失敗してしまった。」など、このような方がいらっしやいましたらいつでもご相談ください。病棟や検診センターでも断煙についてパンフレットを設置しておりますので是非ご覧ください。

第166回 清流ハートクラブ(心リハ患者会)開催！

5月30日に第166回 清流ハートクラブを開催しました。今回は、循環器内科 黒川医師より「高血圧について」と題し、大きく分けて①高血圧とはなにか②高血圧の原因・検査方法について③高血圧の治療法について講話がありました。とてもわかりやすい内容で、時には笑いもあり和やかな雰囲気のなかでの開催となりました。

高血圧などの生活習慣病は自覚症状がほとんどないため気づきにくい病気です。そのため、長い期間放置していると脳・心臓・腎臓などの血管を痛めてしまい、心筋梗塞や脳梗塞などの重大

な病気を起こしやすくなります。これらを予防するためには早期発見・早期治療が大切であるため、定期的に健康診断・人間ドックを受け、なにか指摘があった場合には必ず医療機関を受診されることをおすすめします。



医療福祉連携室 小田 薫子

ひまわり会開催

6月13日ひまわり会を開催しました。

今回は、バランスの良い食事を摂る為の知識を身に着けるため、北岡管理栄養士を講師に、講義と合わせ実際にバランスよく調理されたお弁当をいただきました。健康な身体づくり、がん治療を受けるための免疫力や体力をつけていただくためにも、過不足のない栄養素の摂取が必要です。

食事のバランスをコマにみため、何をどれだけ食べたらいいかを分かりやすく説明をしてもらいました。

講義の後には、お弁当を実食したのですが、主菜にアジの鮓かけ、厚焼き卵、副菜にゴーヤのきんぴら、ニラとしらたきの炒め物、これにご飯とフルーツのデザートがついて526kcalと栄養素も満点でお腹も満たされるものでした。

出席者は全て女性でしたので、寄せられた感想の中には、普段食べている食事より量が多いというものもありましたが、間食をしないためにも食事をしっかりと摂取する、調理法を工夫



することで必要な栄養素を満たし、カロリーを抑えながら満足いく量の食事を摂取するなど、日ごろのちょっとした心がけと工夫が大切であることを実感しました。

日々の生活をおくる中で、つつい食が偏りがちになりますので、これからも定期的に食事や栄養に関する話を聞く機会を設けていきたいと思っています。



医療福祉連携室 岡本 理恵

医療安全院内研修会～個人情報保護について～

2019 年度より医療安全管理室担当になりました城本真由美です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

医療安全研修会は年に 2 回実施し、全職員参加が必須の研修会となります。今回、6 月 18 日 20 日 21 日の 3 日間で開催しました。

今年度 1 回目の研修は「個人情報を守っていますか？」のテーマで行いました。

2017 年に改訂個人情報保護法が全面施行され、一般的にも個人情報保護について関心が高まっており、医療分野では多岐に渡り患者様の個人情報を取り扱っているため、個人情報漏洩防止に対して認識を深める必要があります。

そこで、3 つの事例と対策をあげ、実践できるような研修内容にしました。

FAX 送信の手順も当院のルールがありませんでしたので、対策として研修で周知しました。

また、患者誤認防止は 医療事故防止の基本 です。患者様

の個人情報を守るためにも、個人情報取扱い時には「患者確認会話」を行います。「患者確認会話」とは、患者様に名前をフルネームで言っていただくことです。「さっきも名前をいったのに、また言うの？」と思われるかと思いますが、患者様の個人情報漏洩防止の対策の一環ですので、ご協力よろしくお願い申し上げます。

今回の参加率は 89%でした。2 回目の医療安全研修会は 11 月に行います。研修内容もより実践で活用できる内容と考えております。

今後も地域住民の皆様に安心安全な医療が提供できるように医療安全担当として精進していきます。



医療安全管理室 城本 真由美

特別臨床実習 - 地域医療 -

人吉医療センターで 3 週間の地域医療実習をさせていただきました。実習の内容としては、総合診療科、救急センターを中心に小児科や外科の院内実習、訪問看護や五木村診療所の院外実習もあり、とても充実していました。

今回の実習では、問診や診察、カルテ記入など、大学ではあまり経験させてもらえないことをたくさんさせていただきました。問診では、初診・再診、検診の方など色々な方を問診することにより、状況によって問診にかかる時間や聞くべきことなどが異なるので、それぞれを体験できたのは良かったです。検診の問診は初めてだったので、質問項目がうまくまとめられず、苦戦しました。質問の取舍選択を上手にできるようになりたいと思いました。また、カルテ記入も今までほとんどしたことがなかったので、実際に記入するとなると戸惑うことが多々ありました。分からないことも指導医の方や研修医の方が優しく教えてくれたのでとても助かりました。

また、採血や局所麻酔、縫合など手技もたくさんさせていただきました。貴重な経験を積むことができて勉強になりました。

人吉医療センターで地域の医療環境をみて、ここでは患者さんの退院した後の生活環境についても先生方を含めたスタッフの方がとても配慮しているということが分かりました。交通の便が悪く、独居の高齢者も多い中で、訪問看護や五木村診療所があることより、患者さんのフォローしっかりとされていると感じました。患者さん一人ひとりのニーズに合わせて医療がなされているのがとても印象的でした。

3 週間大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。



熊本大学医学部 6 年
三戸 優花

HMC アロマ同好会

アロマ同好会 COCORO は、AEAJ 認定のアロマセラピーインストラクターとアロマセラピストの有資格者である当院職員の矢立さん、宮川さんのご指導の下、毎月 1 回不定期で院内開催されています。

今回、5 月 28 日（火曜日）17:30 から院内でアロマワックスサシェの製作が行われていました。良い香りが漂う中、女子力高め 3 名の参加があり、テーブルには COCORO のロゴのクラフト、お花が飾られ院内とは思えないステキ雰囲気の中で製作させていました。

アロマワックスサシェとはロウソクの材料であるワックスからできた香り付きのサシェだそうで、今回は、ドライフラワー、パールビーズがトッピングされていました。

アロマの香り、トッピング、形、染色 etc…自身の好みに合わせ、先生と相談しながらとてもステキなサシェが出来上がって

COCORO の紹介



いました。製作と共におしゃべりも大変盛り上がり、大変楽しいひとときを過ごさせてもらいました。

6 月の予定は未定とのことでしたが、多くの方にアロマを楽しんでいただきたい！と毎月開催されています。材料は揃えてあります。身一つで参加できるので予定が合う方、興味のある方は是非、参加されてみてください。

救急救命士の就業前病院実習を終えて

今回、救急救命士の就業前病院実習で人吉医療センターにて160時間の実習をさせて頂きました。業務多忙の中、医師、看護師をはじめ医療スタッフの方々には、親切に御指導して頂き深く感謝申し上げます。

私は消防士を拝命し今年12年目。北九州市にある救急救命九州研修所で約7ヵ月の研修後、救急救命士国家試験に合格し、今回の就業前病院実習に取り組みました。実習中は救急救命処置である静脈路確保を救急現場において、安全・確実・迅速にできるよう技術の向上を図ると共に、救急搬送時の患者収容依頼の際、病院が必要とする情報を伝達できるよう、問診力の向上を目標としました。静脈路確保については、血管選択及び穿刺する際に指導者から評価して頂き、技術の向上に努めました。問診については、指導者から教えて頂いたOPQRSTSAMPLE問診を活用し、予想する疾患に結びつけるようフィジカルアセスメント能力の向上を目指し、救急現場同様、問診と観察を行った後、医師へ伝達し評価して頂きました。実際にやっ

てみて、更なるスキルアップが必要と実感したところ。また、私事ですが、自分自身を見つめ直す良い機会になりました。人吉医療センターの皆さんの御理解と御協力があった、救急救命士を目指した時の初心を思い出し、実習を無事終える事ができ本当に感謝しています。ありがとうございます。私にはやるべき事があります。これからは救急救命士として地域住民に安心と安全を提供できるよう、今回学んだ知識と技術を生かし、更なるスキルアップを目指し訓練に励みたいと思います。本当にありがとうございました。



人吉下球磨消防組合消防本部 田頭 哲也



熱中症にご注意！

5月末には、熱中症の患者さんが救急外来でちらほら見受けられるようになってきました。スポーツをしていて起こす若者から、暑くなってきたのに水分補給をあまりしていなかった高齢者まで、様々な年齢の方が熱中症で運ばれてきます。

熱中症による救急搬送の数は、日本全体で年間約5万人であり、ここに自家用車で来院した人や自宅で様子を見ていた人を加わると、1年間で相当の人が熱中症になっています。

場所としては5割強ほどが住宅であり、残り4割が屋外となっています。65歳以下だけで考えると屋外での発生が多いのですが、熱中症の約半数は65歳以上の高齢者であり、その7割が住宅での発生のため、全体でみると住宅が多くなっています。

以下はその対策です。

- 食事……………しっかりと摂取してください。毎日の食事から栄養はもちろん、1Lほどの水分も摂取しています。
- 水分補給……こまめに、時間を決めて行ってください。目安は、人にもよりますが1日1Lほどです。一気に大量の水分を摂取すると、吸収されずに排出されてしまう水分が多くなりますし、加齢などでのどの渇きを感じにくくなっている人は、時間を決めておかないと水分摂取量が少なくなってしまう。汗をかいたときは、ミネラルが失われるため塩分の入っている経口補水液などを。汗をかいていないなら（大体の場合）何でもよいです。
- 環境……………意地を張らずに、暑いと思ったらクーラーや扇風機を使ってください。

それでは皆さん、熱中症のない良い夏を！

基幹型臨床研修医 2年 石内 聡一郎

令和元年度 災害実動訓練・病院フェスティバルのご案内

令和元年9月1日（日）人吉市総合防災訓練と連携し、人吉医療センター災害実動訓練を行います。

当日は地域の行政機関や医療機関をはじめ、人吉医療センター地域協会の、アマチュア無線クラブの皆様にもご協力頂きます。当院は人吉球磨地域の災害拠点病院に指定されており、災害時の医療拠点となるべく、研鑽して参ります。

当日は騒音及び正面玄関、本館棟1階を主に使用するため、入院中及び来院の皆様にご迷惑をおかけ致しますが、ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

また、訓練後には当院敷地内において病院フェスティバルを開催致します。どうぞ皆さままでおいで下さい！



昨年の様子

帰ってきた!!

認定看護師のちょっとためになる話

下記の予定で認定看護師による地域研修会を開催いたします。事前に各施設へご案内をお送りします。
参加ご希望の方は資料の準備等がございますのでご連絡ください。

第1回「がん医療とスキンケア」

日時：9月7日（土）10時～12時
会場：人吉医療センター 3階講堂
対象：訪問看護ステーション・介護施設の職員

【スケジュール】

受付 9:40
開会 10:00
研修 10:05
閉会 12:00



【内容】（第1回）

「今話題のがん免疫薬療法について」 がん化学療法看護認定看護師 矢立 雅章
「がん放射線治療とは」 がん放射線療法看護認定看護師 樋口 和美
「患者さん、自分を守る自己触診」 乳がん看護認定看護師 地下 奈緒
「スキンケアについて」 皮膚・排泄ケア認定看護師 宮原 ひろみ

第2回は11月16日（土）の開催を予定しています。

第88回職域・愛好ナイターソフトボール大会

6月6日 第88回職域・愛好ナイターソフトボール大会に参加しました。

結果は残念ながらコールド負けと残念な結果でしたが、前大会優勝のチーム相手に最後まで選手・スタッフ全員が自分の持っている力を十分に発揮し、当院の「チームワーク」をアピールした試合となりました。個人的には、以前当院の施設課で働かれ、退職後もソフトボール部の選手兼監督を務める中村末太郎さんの70代とは思えない鮮やかなピッチングや、入部1年目からチームの中心選手である臨床研修医の高津研翔先生の華麗なバッティングに大変感動しました。今回の試合を通して、また一段とチーム全体が一つにまとまった、そう思える素晴らしい大会でした。

歯科口腔外科 中村 康大



1Fコンビニからのご案内

現在、1Fコンビニでは地元人吉で作ったお弁当、パン等を品揃えさせていただいております。病院様の基本方針の1つでもある地域連携を習い、弊社としても地産地消を念頭に地元人吉の各業者様をお願いをして医療センター内での販売を行っております。



5月には新しいお弁当屋さんも参入していただき今後も拡大していきたいと考えております。

前回もご紹介させていただきましたが、キーコーヒーさんのコーヒーマシンも大変好評をいただいております。是非この機会にまだご利用いただいていない方も地元人吉で作られたお弁当、パンと一緒にご賞味くださいますようお願い申し上げます。

新 任 紹 介



加藤 有紀子（9階・看護師）

最終卒業校：名古屋市医師会看護専門学校

趣味：音楽を聞くこと

好きな言葉：一期一会

自分の性格：マイペースすぎる

自分のコマーシャル：15年ぶりに地元に戻って来ました。新たな気持ちで頑張りたいと思います。

（お詫び）R1.5月号 新任紹介（中神寿一）の記載に誤りがありました。正しくは「史学の勉強」となります。

6月の勉強会報告

6月12日(水)救急医療研修会

「見逃してはいけない循環器救急疾患」

当院 循環器内科 尾上 喜郎先生

6月14日(金)人吉球磨学術講演会

「パーキンソン病診療のABC」

熊本大学病院 分子神経治療学寄附講座

特任教授 中根 俊成先生

